

■患者講義について

全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団においては、集団予防接種によりB型肝炎に感染した患者などを講師として派遣し、被害者の声を伝える活動「患者講義」を行っています。

この「患者講義」については、令和4年度から厚労省と連携し全国の中学校でも展開されております。これまでに実施された「患者講義」の感想の一例を紹介します。

○先生の感想

・難しいテーマであったため生徒たちが理解できるのか不安もありましたが、患者ご遺族の方が涙ながらにお話しして下さる姿をみて心動かされ、写真や動画を用いて丁寧に説明して下さりB型肝炎についての理解を深めることができたようでした。(岡山県)

・今回の講演会でB型肝炎になられた方やそのご家族の怖さや辛さに触れたこと、決して人ごとではないと感じたこと、自分・家族がもし同じ立場だったらと考えたこと全てが生徒たちにとって大きな財産になったと思います。(岡山県)

・生徒にとって、B型肝炎に関する問題は難しいテーマであったと思います。しかし、今回のように直接講義を受ける機会があることで、正しい知識を学び、問題への理解につながったと感じています。(新潟県)

・生徒からは、「正しい知識を知ることが大切」「差別や偏見のない社会にしたい」というような感想が多くありました。今回の経験が、将来に渡り生きてくると思います。(新潟県)

・肝炎について初めて聞く子供が多い中、一生懸命話を聞いて、アンケートも時間が足りなくなるくらい頑張って記入していました。(新潟県)

・肝炎という病気を通じて、偏見差別による苦しみや、自分自身に何ができるかということを考えてもらえたと思います。(新潟県)

・生徒も真剣に聞いていた様子で、貴重な体験かつ、非常に価値ある時間になりました。(福岡県)

・非常にわかりやすく、深く考える時間もあつた授業であつたと感じています。(福岡県)

・想像を絶する闘病だったことが、初めて理解できました。生徒も感銘を受けたようで、良い感想も多々ありました。分かりやすく話して頂いたと思います。(鳥取県)

【患者講義に関するお問い合わせ】

厚生労働省健康局がん・疾病対策課B型肝炎訴訟対策室

F A X : 03-3595-2169 / e-mail : bkan-inochi@mhlw.go.jp